

2016年度

日吉台まちづくり協議会 全体会議



2016年5月22日
日曜 14時~16時
市民センター
第2会議室

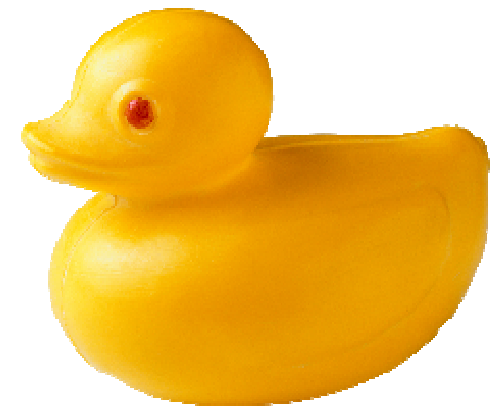
昨年度の検討内容

- 部会方式から事業部方式へ
 - 日吉台新聞事業部
 - 子育て応援隊事業部
- 気軽に町作り活動に参加できる体制へ
 - 多様な事業をつうじて住民の多様な関心に応える
- 日吉台住民のつながりを深める方向へ
 - 人間のつながりこそがコミュニティの基盤



昨年度発足した事業① 子育て応援隊事業部

- 旧第一分科会（幼保問題）から発展
- 事業部長は黒井さん
- 日吉台の児童（幼稚園・小学校）を対象
- 社会福祉協議会・自治連合会からの支援
- 幼児向け教室「アソ☆ビバ」
- 小学生向け教室「マナ☆ビバ」など



昨年度発足した事業②

「日吉台新聞」事業部



- 協議会事務局を中心として発案・設置。
- 初代編集長は野々口さん
- 2016年1月創刊、毎月1日発行
- 内外からの反響も多数
- 今後は記者を増やすなど編集体制を強化



日吉台まちづくりビジョン2026

- 10年後を見据え、2回の五カ年計画（マスタープラン）の策定へ
- 行政や各種団体と協力しつつ、地域住民主体の楽しいまちづくりの提案
- コンパクトな生活環境の維持・質的向上を図る
- 滋賀県の先進的モデル地域をめざす



基本方針

1. やすらか

- ✓ 安心・安全な町、日吉台

2. すこやか

- ✓ 健康な生活と健全な成長を見守る町、日吉台

3. はれやか

- ✓ 楽しいコミュニティ、日吉台

4. なごやか

- ✓ 助け合いの町、日吉台

5. にぎやか

- ✓ みんなが集まる町、日吉台



1. やすらか

—安全・安心な町、日吉台—

- 江若バス路線の維持
 - 「バスに乗ろうよ」運動
 - 市・企業と連携して便数維持

- 空き屋問題の解決
 - 大津市との連携強化・空き屋バンクの構築
 - 「空き屋対策事業部」の設置

- 自治会活動の維持・発展
 - 自治会加入率向上のための方策



2. すこやか

—健康な生活と健全な成長
を見守る町、日吉台—

- 高齢者問題への対処
 - 独居老人家庭の情報把握（※SOSネットワーク）
- 健全な教育環境の維持・促進
 - 学区内幼児教育施設の維持
 - 子育て・教育の支援活動（アソ☆ビバ・マナ☆ビバ）
- 文化・スポーツ活動の維持・促進
 - 集会所の活用（2北を参考に）
 - 住民サークルの情報把握とネットワーク化



3. はれやか

—楽しいコミュニティ、日吉台—

- 住民どうしの結びつきの強化
 - 人的資源の発掘・人材バンクの整備
- 交流拠点の整備
 - 集会所利用の活性化
 - 市民センター活用の検討
 - 滋賀銀跡地の検討
- 情報の共有
 - 日吉台新聞の利用



4. なごやか —助け合いの町、日吉台—

- 近隣の助け合い体制の整備
 - 独居老人のみまわり
 - 非常時の通報ネットワーク（※SOSネットワーク）
- 社会貢献活動のための人材発掘
 - 子育て終了世代に向けたPR
- まちづくり活動拠点の整備
 - 滋賀銀跡地などを利用した社会事業拠点の検討



5. にぎやか —みんなが集まる町、日吉台—

- 日吉台の魅力を積極的に発信
 - 日吉台新聞の利用
 - ホームページによるPR
 - 日吉台の人と歴史の紹介（日吉台史の発掘）
 - 多種多様な日吉台マップの作成...など
- 賑わい空間の創出
 - 「日吉台マルシェ」の定期開催※
- 町全体の一体感の創出
 - 花と緑のまちづくり（シンボルフラワーなど）※



今回の提案事項（1）

- 日吉台まちづくりビジョン2026（仮）の策定
 - これからの日吉台のマスタープラン
 - 5カ年計画×2回
 - 事務局を中心に作業
 - 今年度内に作成
 - 来年度の全体会議で具体案を提案
 - 最終的に自治連合会に提案



今回の提案事項（２）

- 「空き屋対策事業部（仮）」の設置
 - 大津市と連携
 - 不動産業者、地域企業への協力要請
 - 空き屋の実態把握
 - 空き屋マップ／空き屋バンクの構築
 - 新聞事業部などと連携したPR



今回の提案事項（3）

- 「日吉台マルシェ事業部（仮）」の設置
- 当面は月1～年1回のできる範囲で定期開催
- 自作野菜の販売、手作り市、リサイクル市などをつうじた住民交流（協議会メンバー勧誘も）
- 市民センターや集会所など利用
- 運動会など他の行事との連携も...
- 拠点ができれば恒常的開催も...



今回の提案事項（４）

- 花と緑のまちなみ事業部（仮）
 - 街路樹問題への対処
 - シンボルフラワーの選定
 - 美しく一体感のある町を守る事業を提案・実施



そのほか

- 新規事業部が立ち上がると合計 5 事業部になる
 - 新たな協議会の運営体制へ
- 運営は事務局ではなく各事業部に委任
- 各事業部の代表が事務局会議で議論・調整
- 積極的に日吉台新聞を活用



問い合わせ先

- お問い合わせは事務局まで

電話 090-4280-9541 (村澤)

メール mahoro001@icloud.com

